

モ遺憾トスル點ハ其使用セル原料ノ本質ハ原來他ニ多ク比隣スヘキモノナキモ其仕舞置テ誤リタルカ故カ腐蝕ヲ生シタルハ惜シムヘキコトナリ

廣島縣 當業者ノ多數ナルニ拘ラス出品ノ尠少ナルハ遺憾ナリ而シテ其原料ノ品質岡山香川ノ兩縣ニ讓ラス製作亦佳良ニシテ前途多望ノ生産地タリ且ツ本縣ニハ良好ノ經木ヲ產出スルニ眞田ノ出品ナキハ蓋シ未タ之ヲ製造スルニ至ラサルカ

山口縣 割稈眞田ノ製作見ルニ足ルアリ其出品ヲ裝束スルニ絹絲ヲ用ヒタルカ如キ無用ノ消費タリ自今改廢ス可シ米藁眞田ノ産額未タ多キニ上ラス又價格高キニ失スルモ將來有望ノ商品ナルヘシ當業者ノ奮勵ヲ望ム

大分縣 麥稈及經木共ニ其品質可ナラスシテ製作モ亦熟達セス

熊本縣 本邦小麥稈ニシテ眞田ノ編製ニ適スルモノ獨リ本縣産アルノミ原料細稈ニシテ強韌且ツ光澤アリ又製作稱ス可キモノアルモ量目重キハ缺點ナリ

長崎縣 原料不良ニシテ製作熟練ヲ缺ク

沖繩縣 當縣ノ出品ハ阿且葉ヲ以テ編製シタルモノナリ技藝不練ニシテ價モ亦不廉ナルノミナラス量目重クシテ帽子ノ製造ニ適セス宜シク本原料ヲ用ヒテ携帶具ノ如キ品類ヲ製造スルヲ以テ利トスヘシ

要スルニ眞田編製ノ技術ハ之ヲ前回ノ當時ニ比スレハ一般ニ進歩ノ形跡アリ練熟ノ効ヲ見ルヘシ然レトモ原料ノ採收ト撰擇ニ至テハ各府縣共ニ全然其統一ヲ缺ケリ思フニ昨明治三

十五年麥稈刈入ノ時季ニ際シ降雨頻繁ナリシニ起因スルモノアル可シト雖モ平素ノ注意周到ナラスシテ麥作ノ改良ニ意ヲ致サ、ル者多キニ因ルナル可ク現ニ前回審査官ノ勸誘シタルゴルデンノロン種ノ如キ以來未タ其試作ノ消息ヲ耳ニセサル所ニシテ常ニ我當業者ハ口ニ改良ノ必要ヲ唱フルモ之ヲ實行スル者無ク所謂名實相副ハサルノ現況ナリトス浩歎大息セサルヘケンヤ

麥稈及經木眞田ハ決シテ本邦特得ノ產出物ニ非スシテ夙ニ伊太利及瑞西等ニ於テ精巧品ヲ產出シ支那ニ於テ廉價ノ品類ヲ製産シ我眞田ハ麥稈ノ色澤佳良ナルト輕量ナルト特長ニ因リ歐米ノ市場ニ歡迎サル、ニ至リシモノニシテ經木眞田ハ歐洲産ニ比シテ其價ノ低廉ナルヲ特色トス明治二十七八年戰役ノ後及北清事件ノ當年頗ニ其輸出額ヲ増進シタルハ素ヨリ我製品ノ海外ニ於テ嗜好ニ投シ需用ヲ喚起シタルニ因ルアリト雖モ一ニ戰役ノ爲メ清國産ノ輸出杜絶又ハ減退シタルト戰勝ノ餘威ヲ享ケテ發生シタル僥倖的現象ニシテ一躍我技藝ノ進歩シテ歐洲産ヲ壓倒シ又ハ商取引ノ發達シテ翼成シタルカ如キ確固ナル發軔ニ非ス然ルニ我當業者ハ思ヲ茲ニ致サスシテ直ニ自負自慢シ又海外ニ於ケル我眞田ノ需用ハ定限ナキモノ、如ク思料シテ漫然多額ヲ製産シ或ハ自家ノ資力ヲ顧ミス又歐米ニ於ケル本品商取引ノ實況ヲ知ラスシテ猥リニ直輸出ヲ試ミテ失敗シタルアリ又從來經驗ナキ地方ニ於テ斯業ヲ開始シ地方廳ノ保護獎勵ヲ加ヘタルアリ斯ク好況ニ乘シテ無謀ノ行動ヲ敢テシタルノ結果我供給ハ需要ニ超過シ一方清國ノ秩序回復スルニ從フテ漸次我輸出額ハ減退スルニ至

レリ素ヨリ之ヲ戰役以前ニ比スレハ倍數以上ノ金額ニシテ毎年凡ソ三百万圓ヲ輸出シ我重要輸出品中屈指ノ多額ヲ占メテ尙ホ盛況ニアリト雖モ之ヲ永遠ニ保持セント欲セハ我當業上施設ヲ要スルモノ極メテ多シ之ヲ今回出品ノ成績ニ鑑ミ世界ニ於ケル本業ノ現狀ニ對照シテ最急ヲ要スル施設ノ二三ヲ語ランカ

製産地域ノ縮少 地方ノ風土良好ナル原料ヲ産出スルニ適スルカ又ハ特別ノ歴史ヲ有スルニ非レハ斯業ノ創始又ハ開發ノ念ヲ斷ツ可シ蓋シ地方ノ大産物トシテ興隆ノ望ナキノミナラス他ヲ誤リ己レ亦利スル所無キニ至ルヘケレハナリ而シテ今回二等賞又ハ其以上ノ褒賞ヲ受領シタル東京神奈川愛知高知香川兵庫岡山廣島山口等ノ府縣及ヒ東北ノ地ハ經木眞田ノ前途ニ望ヲ囑ス可キモノアルヲ以テ此等地方ノ當業者ハ益々奮勉ヲ加ヘ地方廳亦之ニ十分ノ保護獎勵ヲ與ヘ以テ今回ニ於テ一躍名譽銀牌ヲ拜受シタル光榮ヲ更ニ發揚スルコトヲ勉ムヘシ

販賣組合 一町村又ハ一部落ノ同業者協會シテ産業組合法ニヨリ販賣組合ヲ組織シ製造販賣共ニ一致ノ行動ニ出ツ可シ如斯ニシテ團結ノ利ヲ自覺シ訓練熟スルニ至ラハ初メテ海外ニ商權ヲ擴張シ得ヘシ

同業組合聯合會 同業組合ナキ地方ハ速ニ之ヲ設立シ尋テ各府縣同業組合聯合會ヲ組織シ内ハ製品ノ検査ヲ厲行シ又麥作改良及經木ノ撰擇ハ削製方法並ニ原料漂白法ノ改善且ハ編成技術ノ進歩ト新意匠ノ考案ヲ獎勵シ外ニ對シテハ流行ノ變遷商況ノ移動競争國ノ當業等

ニ就テ常ニ精査ス可シ海外ニ出張所ヲ常設シ當業者ヲ統合シテ直輸出ト金融機關ノ基礎ヲ定メ又染色試験所職工養成所ヲ設立スルカ如キ頗ル必要ナル事業ナルモ今日ニ於テ之ヲ望ムハ多キニ過ク可シ而シテ聯合會ニ要スル經費ハ検査ノ際一反ニ付キ五厘乃至一錢ヲ徵收スヘシ我眞田ノ海外ニ出ルモノ毎年凡ソ一千萬反ナルヲ以テ一反五厘ヲ課スルモ五万圓ヲ得ヘシ我開港地ニ於ル眞田價格ノ變動ハ五錢ノ増減ヲ普通トシ忽チニシテ加リ忽チニシテ減スルノ現況ニ顧レハ每反一錢ヲ徵スルモ敢テ難事ニ非サルナリ況ンヤ聯合會ニシテ成立シ如上ノ設備ヲ開始遂行シ得ルニ至ラハ當業者ノ幸福ハ圖リ知ル可カラスシテ本邦斯業ノ基礎茲ニ確立シ得ル所ハ費ス所ニ幾十倍スヘシ

官府ノ保護 獨リ眞田業者ニ限ラスト雖モ由來我當業者ハ因習ヲ排シテ改進スルノ勇斷ナク感情ニ激シテ商利ヲ忘却シ忍ヒ得ヘキニ忍ハスシテ相確執シ以テ大局ノ公益ヲ思ハサルコトアリ夫ノ生産地域ヲ縮少シテ地方ノ特長ヲ發揮シ兼テ需用供給ノ均衡ヲ保チ販賣組合ヲ組織シテ相互ノ福利ヲ保持増進シ同業組合聯合會ヲ成立シテ本邦斯業ノ木鐸タラシムルカ如キ同業者一番ノ奮勵ニ因リテ構成セラル、モノナルモ之ヲ彼等ノ爲ス所ニ放任セハ容易ニ成立ス可キコトニ非ス又幸ニシテ其組織ヲ見ルニ至ルモ活動當ヲ得テ豫期ノ事業ヲ完成シ得ルヤ否ヤ頗ル疑問ノ存スルモノアリ故ニ此秋ニ當リ我政府及地方廳ハ彼等ヲ督勵スルコト最モ急要ナリ而シテ若シ能ク可クンハ麥稈及ヒ經木ノ改良ニ關シテハ農事試験所及山林當局者ニ於テ之ヲ試ミ製品検査ノ如キハ中央政府ニ於テ検査所ヲ新設シ又領事館ニ於

テ常ニ海外斯業ノ實狀ヲ精査シテ速カニ公知セシムル等施設ノ端緒ヲ開キ事漸ク進ムニ至テ之ヲ組合又ハ聯合會ノ經營ニ委セシムルコトヲ望ム

審査囑託小野麟吉批評 麥稈眞田ハ前回ニ比スレハ出品點數頓ニ増加シ原料ノ撰擇及組方等亦大ニ面目ヲ更メ殊ニ前回ニ於テ殆ント皆無ナリシ意匠品多キヲ占ムルカ如キハ以テ斯業進歩ノ顯著ナルヲ證スルニ足レリ然レトモ主産數縣ヲ除クノ外發達年尙ホ淺キヲ以テ改良ノ餘地尠ナカラス假令ハ原料ニ就テハ往々蒔入期節ヲ誤リ或ハ早キニ失シ或ハ遅キニ過クルモノアリ漂白法モ舊來ノ亞硫酸瓦斯ヲ使用シタルモノ稀レナリ組方概シテ普通品ニシテ意匠ニ乏シ要スルニ將來一層麥種ヲ撰擇シ栽培蒔入ノ期節ニ注意シ以テ原料ヲ精良ナラシメ日進ノ染色法及漂白法ヲ講究シ以テ製品ノ増加ヲ致シ進テ意匠ヲ凝ラシ以テ需用地ノ流行ニ副ハンコト最モ肝要ナリ

前回皆無ナリシ經木眞田モ近年長足ノ進歩ヲ爲シ原料組方共ニ良好ニシテ意匠亦見ルヘキモノアリ然レトモ染色法漂白法ニ於テ尙ホ不完全ノ嫌ヒアリ之レカ講究改良ヲ要ス

今ヤ麥稈帽子ハ世界ニ彌リテ行ハレ從テ其材料タルヘキ麥稈眞田ノ需用ハ實ニ多大ニシテ亦世界ノ一大商品タリ歐洲諸國及北米合衆國等ニ於テハ廣ク之ヲ製産スト雖モ近年本邦ニ其編組ヲ仰クコト巨大ノ數ニシテ本邦ノ麥稈ハ其質良好光澤亦美ナリトノ稱アリ加フルニ編組亦拙カラス故ニ歐米ノ市場ニ上ルモノ多キヲ致シ我邦民ノ一大産業

トハナレリ然リ而シテ我邦ノ麥稈ハ純白ニシテ量目輕ク巾廣ク光澤ニ富ム等ノ特質アリ故ニ將來需用者ノ嗜好ヲ察シ新奇ノ意匠ヲ案出シテ流行ノ先ヲ制シ技術ノ精巧ヲ期スルトキハ前途有望況ンヤ職工ノ賃銀極メテ低廉ナルノミナラス職工ハ概シテ手工ニ長シ優美ノ思想ニ富ムニ於テヲヤ是レ即チ斯業ノ前途ハ有望ニシテ益々擴張ノ必要ヲ感スル所以ナリ

審査補助川田廣太郎意見抄 今回ノ出品ヲ目撃シテ感スル所少ナカラス左ニ其大要ヲ掲ケン

一、出品麥稈眞田ニ就キテ國家的眼孔ヲ以テ評セハ其原料麥稈ノ統一ヲ缺クル斯業改良ノ最急務ト言フヘシ
夫レ麥稈ノ統一ヲ缺ケルコト現今ノ如クナレハ稈質硬柔ノ差甚シキカ故ニ組方一様ナラス色澤亦數等ニ分カレ其結果ハ即チ漂白方染色方ニ同一處方ヲ取ルコト不可ナル場合アリ麥種ハ到底一致セサルヘカラサルナリ

二、組方粗雜ナルモノアリ
組方粗雜ナレハ染色若クハ漂白(淺水漂白チ行フ場合)ヲ行フ際原形崩壞シテ製帽ニ堪ヘサルモノアリ故ニ經木眞田ノ如キモ海外ヨリ組方ノ緻密ナランコトヲ要求シ來レリ

三、漂白過度ナルモノアリ
漂白過度ナルモノハ月ヲ經ルニ從ヒテ耐久性ヲ失フ經木眞田モ亦此弊アリ故ニ海外ニ

於ケル斯業黑人筋ハ原質佳良ナレハ漂白セスシテ可ナリト注意シ來レリ

四、意匠陳腐ニ屬スルモノアリ又巧緻ニ失スルモノアリ

意匠陳腐ニ屬スルモノハ在荷拂底ヲ告ケタル場合或ハ時ニ價格昂騰ヲ現スノ例ナキニアラサルモ之レハ例外ノ例ニシテ普通時ハ利得概シテ僅少ナルモノナリ故ニ經木真田(參釋真田モ亦上等品)ノ如キ意匠専用ヲ以テ市場ニ立タンニハ常ニ新陳代謝ノ原則ニ依リテ新見本ノ造出ニ務メ以テ眞價ヲ保持セサル可カラズ又巧緻ニ失スルモノトハ所謂工夫ニ凝リ過キテ實用ニ適セサルモノヲ云フ而レトモ巧緻ノ其當ヲ得タルモノハ大ニ歡迎セラルル所ナルモ其需用ノ範圍ハ比較的狭小ナリトス勿論巧緻ナル品種ハ斯業ノ先驅ヲ務ムル花役者トモ稱スヘク其動作如何ニ依リテハ普通品ニ利害ノ影響ヲ及スコト多大ナレハ當業者タルモノ常ニ此意ヲ體シテ兩者ノ調和ヲ破ラサル様生産者ニ務ムヘキナリ

又經木真田ノ色交物ニ就テ一言セン夫レ色物ノ流行ノ盛衰ハ組方模様ノ變遷ヨリ以上ノ速度ヲ以テ行ハレツ、アル以上ハ本邦トシテ米國ノ如キ最モ取引上便利ナル國柄ヲ選ンテ商路ヲ開カントスルモ常ニ流行ニ先ツテ流行ヲ制スル底ノ敏捷ナルコトハ難事ナリト言ハサルヘカラス若シ強テ之ヲ爲サハ注文納期ノ遲延色合ノ一致ヲ缺ク等種々ナル故障ヲ生シ爲メニ意外ナル損失ヲ負フコトアルヘシ余ハ國產トシテ弘ク獎勵センニハ斯ル危險ヲ含メル著色物ヨリハ白素地ノ品種ノ製作ニ從ハシムルコソ穩健ナル工

業擁護策ナリト信スルナリ

五、海外ニ於ケル重ナル製造地ノ良習慣

伊太利タスカン地方ニ於テハ毎年製造上ノ間隙期(本邦ナレバ毎年三、四、五、六)ニ入レハ其重ナル製造者ハ休業シ所謂見込品ノ製作ヲ避クルコトナリ本邦ノ如キモ此期間ニハ所謂ツナギ仕事ト稱シ非常ナル安價ヲ以テ供給ニ應シタルコトアリ又資力アルモノハ前途有望ナルモノヲ此期ニ乘シテ製作シ以テ海外市場ニ委託販賣ニ附シタルコトアリ然レトモ其結果ハ皆非ナリキ要スルニ經木真田ノ如キ嬌奢部類ニ屬セル商品ハ彼ノ日用品ノ如ク價格ノ低廉ヲ俟テ盛行セラルモノト其品ヲ異ニシ斯品ニ限り意匠新ナルモノハ敢テ價格ノ貴キヲ厭ハサルノ性質ヲ有セリ故ニ余ハ同業者諸君ニ勸告ス譬ハ此間隙期間ハ製造原價安價ナリトモ好シテ多額ノ製作ヲナスコトナカレ余等ノ經驗ニヨレハ此窮地ニ入りテ爲シタル行爲ハヨシ僅少ナルカ如シト雖モ本邦ノ事情ニ通セサル海外顧客ハ其價格ノ差異ノ甚シキニ一驚ヲ喫シ爲メニ市場ノ人氣ハ沈衰シ將ニ來ラントスル需用期ノ障害タルコト少ナカラサルナリ余ハ斯業自衛ノ爲メニ本邦經木真田製造者モ亦實力ヲ養成シテ此好例ニ倣ハンコトヲ切望ス

六、佛國最新流行品ヲ紹介ス

即今佛國巴里ノ位地タル全世界流行品ノ宗家トシテ洋ノ東西ニ仰向セラルコトハ余カ説クヲ俟タサル所ナリ茲ニ近着巴里人ノ手ニ成レル嶄新經木真田標本ハ犬丸鐵太郎氏

ノ好意ニヨリテ示サレタリ余之ヲ熟視シタルニ其全部ハ殆ント經木ヲ以テ構成セラレ只僅カニ飾用トシテ人造絹絲ヲ浮形ニ顯ハシタルト他ハシヤコト稱スル極ク細キ三本打眞田ヲ(く)字織キニ編込ミタモノニシテ其意匠ノ貴フ所ハ淡白瀟灑タル風趣アルト一般工手者カ最モ摸倣シ易キハコノ二點ニアリ斯意匠ノ上乘工夫ノ秘訣タリ余ハ平素標本考案ニ苦勞スル者ノ爲メニ一言シテ微ヲ關クコト斯ノ如シ

七、出品陳列方ノ不備及ヒ所感

方今府縣聯合共進會ト云ヒ又内國勸業博覽會ト云ヒ何レモ其出陳區分ヲ府縣別ニ取レルハ會場整理上正ニ然ルヘキコトニ屬スト雖モ勸業競技ノ本旨ヨリ觀スルトキハ出陳不備ノ評ヲ下スニ躊躇セサルモノナリ今回ノ會場へ出陳シタル眞田組ノ如キモ其出品ノ府縣コソ二十四個所ノ多キヲ稱スルモ其總點ニ至リテハ僅カニ二千八百四十餘點ニ過キス而シテ一縣下ニシテ百點以上出品シタルハ岡山縣外三縣ニ止リ他ハ二十點乃至四十點臺ノモノ多數ヲ占メ甚シキハ一縣二三點ニ過キサルモノアリ斯ノ如ク出品點數僅少ニシテ只寂莫ノ觀ナキニ非サルモノヲ更ニ各所ニ分置セラレタル爲メニ尙ホ一層看者ノ注視ヲ率クコト稀ナリ又神奈川縣他ニモアリノ出品ノ如キハ普通飾棚ノ上邊七尺以上ノ高所ニ排列シタルハ誰カ言ニ徵スルモ只々拙策ト評セサルハナシ元來塗金彩粉艶ヲ競フ漆器ヤ精巧美麗珍ヲ爭フ織物類ノ品評ニ忙殺セラレツ、アル數萬ノ看者何爲ソ斯カル配置ノ本旨ヲ失セル個所マテ視線ヲ放ツノ餘裕アランヤ又岡山縣出品中ニ

ハ間々微菌ノ發生シタルモノアリ其原質ノ良ナルニモ拘ラス止ナク審査部外ニ附セリ其發因ハ飾棚内部ヲ紙裝セル貼糊ノ未タ全ク乾涸セサルニ配列シタル爲メナラントモ云ヒ又一説ニハ會場内撒水過度ノ爲メニ麥稈通有性トシテ容易ニ水分ヲ吸收シタルノ結果ナリトモ云ヘリ其何レカ事實ナルヤ否ヤヲ識ラサルモ一日千秋ノ思ヒヲ爲シテ審査ノ結果ヲ俟ツ、アリシ出品當事者ノ不幸之ニ過キス余ハ此不測ノ出來事ニ鑑ミ今後此種ノ會ニ關係スル諸士ニ慎重ナル注意ヲ請ハント欲ス

余ハ今回ノ出陳方法ニ就テ大ニ感スル所アリ左ニ卑見ノ要領ヲ摘記スヘシ即チ今後幾多開設セラルヘキ共進會也博覽會也益々盛カンニ出品シテ弘ク觀者ノ注意ヲ喚起シ以テ勸業獎勵ノ盛旨ニ副ハシメンニハ斯品ニ限レル特別館ヲ設置シ茲ニ各府縣ノ產品ヲ陳列スルニアリスノ如クナレハ未タ本業ニ知覺ナキモノト雖モ順次歩ヲ移シテ比見スル間ニ斯業ノ大体ヲ解得シ且其効用ノ偉大ナルニ感シテ自家躬行ヲ試ミント欲スルモノ輩出スヘシ若シ夫レ利害ノ關係ヲ有スル同業者ニシテ足一タヒ場内ニ踏入ラハ他者ノ長所ヲ取リテ自家ノ短所ヲ補スル等所謂他山ノ石ヲ以テ玉ヲ攻ルノ結果亦少ナラサルヘシ

審査囑托原田伊之助意見抄 抑モ殖産工業ハ總テ土質氣候其原料ノ作出ニ適當スルヤ否ヤニ付多大ノ關係ヲ要スルハ論ヲマダサル義ニシテ殊ニ麥稈眞田紐ノ如キハ主トシテ農家ノ副産工業トシテ最モ適當ノ事業トス故ニ其原料タル麥稈ニ適スル土質氣候ヲ

撰ハサルヲ得ス麥稈原料適當ノ土質ハ概ネ花崗山脈ニ連リタル砂質壤土ニシテ氣候溫暖風通シ善キ東南向ノ傾斜地最モ適當ナリトス故ニ右ニ適スル地方ハ充分獎勵且ツ勸誘スルノ必要アルモ又是ニ反スル地方ニ於テハ原料粗惡ノ爲メ自然製品ハ粗製ニ流レ價格低廉ヲ來シ粗品ノ増加ハ必ス不況ヲ來ス一大原因タルヤ瞭然タリ

今回ノ出品ニ付キ特ニ遺憾トセシハ染色真田出品僅少ナル是ナリ抑當業者ニ於ケル染色真田ノ有利ナル事ハ何人モ認ムル處タリト雖トモ染色法未タ幼稚ニシテ外國染色法ニ及ハサルニアリ已ニ染色真田ハ婦人及ヒ小兒等ノ帽子用トシテ常ニ需用ノ多キハ白色真田ニ比肩スルヤニ聞キ及フ果シテ然ルトキハ一日モ忽諸ニ附スヘキ事業ニアラス然レトモ是カ研究ハ農家ノ副業タル個人ノ及サル所タリ次ハ漂白法ノ不完全ナルコト是ナリ爲メニ製品ヲ翌年ヘ持越ストキハ色澤ヲ損スルヲ以テ必ス其年々ニ相場ノ下ニ拘ハラズ賣却スルコト殆ント習慣トナリ居レリ是レカ爲メ一ハ價格ノ亂調ヲ來スノミナラス粗製濫造ノ一因タルナリ何トナレハ麥稈真田業ハ殖産工業ナルヲ以テ氣候ノ變遷如何ニヨリ原料豊凶ヲ免レス原料不作トアレハ忽チ非常暴騰ヲ來スヲ以テナリ年々内國當業者ノ持越品之無キヲ以テ常ニ相場ノ亂高下ヲ調和スルヲ得サルニアリ故ニ左ノ方法ヲ設置セハ必ス利スル所少シトセス

- 一 重要物産同業組合ノ設置ナキ府縣ハ直ニ其組合設置ヲ求ムル事
- 一 府縣同業組合ニ於テ模範染色場并ニ漂白場ヲ設置スル事

- 一 同業組合聯合會ヲ組織スル事
- 一 輸出港ニ於ケル製造品ノ検査場ヲ設ケ嚴格ナル検査ノ上其合格品ニ限り輸出ヲ許ス事ノ規定ヲ設クル事
- 一 漂白法染色法ノ傳習所ヲ設置スル事
- 一 同業組合聯合會ノ事業トシテ歐米兩市場ヘ商況視察員ヲ派遣スル事
- 一 直輸出業者ニ對シ保護獎勵スル事

麥稈及經木真田出品並授賞統計表

府縣別	出品點數	出品人員	名譽金牌	名譽銀牌	一等賞牌	二等賞牌	三等賞牌	褒	狀	計
東京	三六	九				二				七
京都	二九	二								一
大阪	九〇	三								一〇
兵庫	一〇一	六								五
長崎	七	三								一
福岡	一〇	四								一
熊本	四	二								一
三重	九	三								一
愛知	二五	一〇				三				九
靜岡	二六	一								九
計										

モノアラン偏ニ當事者ノ誘發ヲ望マサルヘカラス審査ノ結果授賞シタルモノ三等一人褒狀九人

臺灣出品中其名稱内地ト異リ一見識別シ難キモノ往々ニシテ之レアリ今左ニ之ヲ摘載シテ註釋ヲ加ヘ聊以テ他日ノ參考ニ資セントスルノミ

苜蓿布 鳳梨纖維ノ織物ナリ一ニ鳳梨布ト云フ

オンライ布 臺南特産ノ纖維オンライヲ以テ織リタルモノ

澁烏布 黒色綿布ナリ但シ紺染ノ後大皮迫ト稱スル一種ノ澁ヲ以テ上染セシモノナリ

笑淺布 淺黃木綿

烏大田糊 黒色麻布

上烏糊仔 上等黒色麻布

下烏糊仔 下等黒色麻布

天藍色大田糊 紺色麻布

笑淺大田糊 淺黃麻布

烏漂洋布 黒色金巾

天色漂洋布 紺色金巾

第十章 染織物類製造ノ器具方法形紙圖案

本類ノ出品ハ其點數一千〇八十人員二百八十四ニシテ染織工業ニ關スル器具方法ヨリ標本

圖案ニ至ルマテ比較的雜駁錯綜ヲ極メ箴杆形紙圖案等稍々多數ヲ占ムル處ノ品種タリ而シテ概勢上多少進歩ノ形跡ナキニアラサルモ所謂漸進的ニシテ發明的ニアラサルヲ遺憾トスルノミ

第一節 器具方法

報告員審査官 竹 下 直 次 郎

此種ノ出品ハ箴及杆ヲ主トシ一々類ヲ別チテ批評スルマテモナケレハ直チニ府縣ヲ追フテ評論セントス

東京府 杆ハ木綿用及ヒモスリン用トアリ製作普通特ニ評スヘキコトナシ

綜小間ハ齋藤恒吉ノ出品ニシテ大小各種アリ器械ヲ以テ輕便ニ製作シ價格低廉ニシテ堅牢實用ニ適シ近年販路擴張セリト云フ

コール天切刀ハ大小數個ノ出品アリ輕便實用ニ適ス

京都府 箴ハ出品點數四十六人員十五アリ博多男女帶地用大小巾縮緬用縞珍廣幅用ハンカチーフ用襟地用高配用等絹箴ヲ主トス又鉞及綾取鉞少數アリ何レモ技術精巧ニシテ箴羽ノ整調頗ル舊觀ヲ俊メ材料ノ撰擇編綴ノ方法各部ノ膠著何レモ注意セリ然レトモ編成後箴羽ニ狂ヒノ來リタルモノ編綴ニ不揃ノモノ多少アリキ杆ノ出品ハ僅々數點ニシテ機構ニ改良ヲ加ヘタルモノ一二アレトモ其他ハ評スルニ足ラス

綜統ノ出品十數點アリ就中紋羽二重用綜統首卷模樣織出シ綴リ付綜統及ヒ縞子織用綜統

二番口ノ轉換六回用ニシタルモノハ考案稱揚スヘシ
刺繡縫取器シユワイヘル氏ルム)一點アリ製作普通ナリ

染色標本帖三點無地染縮緬各色ヲ集輯セルモノ其他捺染形板三點銅製絹練釜及ヒ染釜各
一個色付刷毛六點絹張篋三點何レモ普通ノ出來ナリ

萬産氏式及シヤカード式紋揚器數點ノ出品アリ近年此種ノ製作大ニ興リ製作技術改進シ
需要ノ開ケタルハ喜フヘシ

大阪府 篋ハ出品點數四十九人員五アリ綿ネル木綿段通縮緬小倉用等各種アリ「ネル用金篋
ノ代用トジテ巾三十八インチ」カイツル」ノ間隔二」インチ」七分箒羽二」インチ」三四十」モノア
リ大阪ハ特殊ノ織物ナキヲ以テ從テ箒ニ特長ナク各種ノ注文ニ應シテ製出スルモノニシ
テ荒物多ク有皮ノ儘ノモノモアリ就中「ネル用及ヒ羽二重用ノモノハ稍々精巧ト謂フヘシ
箒羽ハ普通白燒ニシテ間々油燒ノモノヲ見受ク羽狂等多少ノ缺點ヲ免カレス製作用竹材
ハ近ク京都ノ嵯峨ニ仰クト云フ

杼ハ出品點數十三人員三アリ地機杼羽二重杼力機杼普通木綿杼等各種アリ又由多加織用
トシテ大形ノモノ一個アリ製作何レモ普通ニシテ特ニ記スヘキモノナシ地機杼ハ需要漸
次減少ノ傾アリ

綜統器械應用「ニス」引綜統彩工舎ノ出品七點アリ掛絲ハ外國ノ輸入品ニシテ製作後「ニス」引
キヲ施シタルモノニシテ堅牢ナリ用途亦廣シ

張伸子ノ出品點數十五人員一アリ金巾天竺縮緬タヲル小倉其他絹用ノモノ各種アリ製作
ニ注意セリ

早繰及絲杼ノ出品アリ製作普通ナリ

紵染器械ハ出品點數二人員一アリ叩キ摺付染ニシテ方法迂遠實用ニ適セサルノ感アリ

神奈川縣 横濱市ヨリ輸出絹織物ノ染色標本二點ノ出品アリ染色及ヒ整理ノ技術可ナレト

モ各種色合標本ノ類集トジテハ格別新規トスルニ足ラス

兵庫縣 篋ハ木綿用小倉用襟地用羽二重用綿子ル用縮緬用博多用等六十點ノ出品アリ一般
ニ子ル箒其他荒箒ヲ特長トシ密箒ハ拙ナリ羽狂ヒノモノ片羽押シノモノ及ヒ色付者等ノ
缺點アリ

杼ハ木綿及ヒ地機用ノモノ二十七點アリ普通品ニシテ價格廉ナリ滑車ノ低キモノアリ少
時使用ノ後磨滅シテ直チニ杼車交換ノ必要起ラン

綜統ハ出品八點アリ普通ナリ

新潟縣 篋ハ出品點數二十三人員六アリ而シテ斜子ハッ橋内外向羽二重絹絲織節織紬タフ
タ織用等各種絹箒ノ出品ニシテ木綿用ノモノハ近々一二ニ過キス一般ニ綴班「狂ヒ」シビシ
脱ケ傷羽モノアリ技術ハ餘リ精巧ナラス只縮緬後研出シモノナキハ喜フヘシ
無双綜統一點アリ十算ノ「カタ」掛絲ニシテ普通品ナリ

埼玉縣 箒ハ出品點數二十四人員七アリ何レモ絹箒ニシテ技術進步セリ「アセリ」カイツルノ

間隔稍ヤ狭シ

綜統二點及羽二重用杼一點ノ出品アリ見ルニ足ラス
板ノ緞染器一點ノ出品アリ普通ナリ染班ヲ生スル患アリ

群馬縣 箒ハ出品點數十七人員七アリ絹、絹子、琥珀力機用子ル箒等各種アリ竹材ハ本縣碓氷
ニ取ル橋本茂市ノ出品ハ機械編ニシテ編方整一箒羽亦タ整ヘリ其餘多少ノ編班及ヒ羽狂
ヒ等アルモ概シテ製作技術良巧ナリ

杼ハ桐生町新橋兼吉ヨリ各種ノ出品アリ羅紗、絹子用其他弦付佛國式等アリ製作頗ル佳ニ
シテ用材亦タ各種アリ只價格高キニ失スルノ感アリ
絲線杼ノ出品アリ普通ナリ

千葉縣 箒ハ出品點數四人員一アリ絹及ヒ木綿著尺巾十、十五、十八、二十等ニシテ普通ノ製作
ナリ別ニ技術ノ見ルヘキモノナシ

栃木縣 箒ハ出品點數十二人員四アリ羽二重、海氣絹等絹箒ヲ主トス絹織用ノモノハ箒羽ノ
間隔不揃ニシテ其他一般ニ竹材ノ撰擇宜シカラス又綴班アリ

二挺杼、バツタン框ノ出品アリ製作可ナレトモ其機構ノ作用ヲ示スニ附屬品ヲ具備セサリ
シハ遺憾ナリ

奈良縣 絹箒三點一人ノ出品アリ製作拙劣綴班及ヒ羽狂ヒアリ竹材ノ撰擇亦宜シカラス
綜統一點ノ出品アリ普通品ナリ

箒四十三ノ出品アリ尖端削付ケノモノアリ針植ノモノアリ亦タ塗漆ヲ施シタルモノアリ
製作稍々巧ナリ

三重縣 箒十九點四人ノ出品アリ何レモ木綿ニシテ著尺巾及ヒ小倉帶地用トシテ製作稍々
可ナリ絹箒ノ稠密ナルモノハ編綴後研出シヲナシタルタメ角羽トナリ使用ニ適セス又小
倉箒ハ脆弱ニシテ耐久ノ性ヲ缺ク其ノ他箒休スメノ剝脫セルモノ等缺點ノ著シキモノナ
リ

綜統二十五點四人ノ出品アリ木綿用ニシテ十一、十五、二十算等ナリ製作可ナレトモ逸品ヲ
認メス用絲ハ「カタン」ニシテ糊付ノモノアリ

杼、駒籠、筒袋ノ出品アリ普通ナリ

愛知縣 箒八點一名ノ出品アリ綿織及ヒ交織用ニシテ白燒キアリ何レモ普通ニシテ密箒ニ
至テハ技術未タ至ラス

杼羽二重用ノモノ一品アリ福井ト同式ニシテ及ハス
「バツタン」三挺普通品ナリ内松崎榮吉出品ノ分ハ中折レニシテ又框ノ重量ヲ變換スル裝置
ヲ附シタリ

綜統三點綜統合資會社ノ出品ニ係ル絹子用綿布用、羽二重用トアリ掛絲ハ「カタン」下普通撚
絲トアリ何レモ器械ニテ編成セリト云フノ外別ニ評ナシ

静岡縣 箒七點二人ノ出品アリ博多、羽二重用及ヒ箒羽ナリ編班アルヲ缺點トス

特許第四八五七號杆ノ出品アリ横管ノ釣止及ヒ取外シニ考案アレトモ實用上餘リ便利ト認メラレス又管ノ尖端仰向キニナリテ絲「ホグレ」ニ缺點アリ
綾取機二個ノ出品アリ經絲ヲ通スル鉄針四十ヲ一列トナシ其隔番半數宛ヲ分テ二條ノ發條ヲ具ヘタル把手ニ取付ケ其把手ノ互押壓ニ依テ輕便ニ一ト算ノ綾取ヲナス裝置ニシテ考案新規ナリ

山梨縣 篋四點一人ノ出品アリ絹織用ト木綿織用トナリ製作稍々可ナレトモ少數ニシテ兎角ノ評ヲ下シ難シ

滋賀縣 工夫紵器一點ノ出品アリ染色方法ノ原理ハ普通板ノ紵器ト同一ナルモ之ヲ横紵ノ連續セル横絲ニ一模様ヲ割當テタル考案嘉スヘシ只木材ノ選定宜シカラス狂損シ易キ缺點アリ又本器ノ效用ヲ知ラシムルタメ該器ヲ以テ染色セル紵絲及ヒ製織ノ見本ヲ添出シタランニハ更ニ妙ナリシナラン

「スピンドル」杆管用「スピンドル」大小八點アリ製作念入ニシテ堅牢ナリ

岐阜縣 篋四十三點八人ノ出品アリ博多縮緬地其他絹物用ナリ又絹織交織用ノモノアリ新式器械編ノモノアリ手編ニ比シテ成績佳良編絲ノ結目ナシ只編絲稍々太キニ失スルノ感アリ其他ニ至リテハ綴班羽狂ヒ羽割レ篋羽ノ厚薄及ヒ研キ出シノモノアリ油燒ノモノアリ又白燒ノモノアリ概シテ普通ナリ
杆ハ四點一人ノ出品普通品ニシテ杆ノ滑車不良ナリ

宮城縣 絹篋二點ノ出品アリ製作稍々可ナリ

福島縣 篋十點四人ノ出品アリ羽二重篋ヲ主トセリ又平絹用ノモノ一點アリ同縣二重用ノモノハ鯨一寸ニ付キ百〇五枚ヲ普通トス近年同縣ニ於ケル羽二重業ノ發達ニ伴ハレテ篋ノ製造起リ爾來著シク進歩セリ竹材ハ京都ニ仰クモノアリ油燒ハ福井ノ如クナラス佐藤万吉出品ノ編方念入リニシテ其他一般ニ篋羽ノ狂ヒアレトモ概シテ精巧ナリ

岩手縣 更紗小紋染標本三點アリ技術幼稚ナリ

青森縣 掛衣礎四點二人ノ出品アリ小形ニシテ製作普通價格廉ナリ

山形縣 篋四點二人ノ出品アリ着尺絹及ヒ羽二重用ニシテ後者ハ福井風ニ則レリ製作可ナリ

綜統三點一人ノ出品アリ絹絲無双及ヒ綜小間入綜統何レモ製作普通ナリ

木綿用杆ノ出品アリタレトモ評スルニ足ラス

福井縣 篋五十點二十四人ノ出品アリ羽二重及ヒ紹織用等絹篋ヲ主トセリ又蚊帳用及ヒ木綿用篋少數アリ油燒ノ篋羽ヲ用ヒタル羽二重篋尤モ多ク製作ニ付テ別ニ新工夫ヲ施シタルモノナシト雖モ技術漸ク精巧ニ向ヘリ京都其他ニ比シテ油燒ノ度ニ過キタルハ篋羽ニ狂ヒノ生スルヲ豫防スルカ爲メニシテ即チ羽二重ハ製織ノ際濕緯ヲ織込ムヲ以テ幾分カ篋ニ狂反ヲ生スルヲ以テ同地製造家ハ之ヲ豫防スルカタメ油燒キノ篋羽ヲ用ユルコトヲ工夫セリ然レトモ又一方ニ於テ油燒キノ過キタル篋羽ハ其質脆弱トナリ破損シ易キ傾キ

ヲ生スルヲ以テ京都西陣地方ノ如キ密箒ニ三ツ入乃至八ツ入ヲ行所ニ在テハ箒羽ノ狂ヒヨリモ破損ノ患アルヲ以テ旁々羽二重ノ如ク沾緯ヲ織込ムノ必要ナキヲ以テ油燒キハ輕クスル異リトス

今回ノ出品中福井縣ノ箒ハ前記ノ如ク油燒キヲナシタルモノ多キヲ以テ製作後今日ニ至ル迄狂ヒノ來ルモノ少ナシ只羽二重ノ如キ輸出向キノモノニシテ殊ニ箒班ヲ忌ム織物用ノ箒トシテハ未タ編班及ヒ箒羽ニ厚薄アルモノヲ用ヒアルヲ缺點トス其他「シビシ」ノ膠着不良ニシテ剝脱セルモノアリ又一般ニ仕上後箒面ヲ研ギ出シタルカタメ箒羽ノ縁邊角稜ヲナシ使用ニ當テ經擦レテ受クルノ缺點アリ是等ハ將來本縣當業者ニ向テ切ニ改良ヲ希望スル所ナリ本縣箒ノ材料ハ京都ノ嵯峨ニ取リ竹材ノ目通り六寸以上ノ竹幹ヨリ箒羽ノ原料ヲ採取ス箒ノ密度ハ普通鯨一寸百〇五羽ニシテ其密ナルモノハ百二十位ノモノアリ本縣ハ我邦ニ於ケル羽二重ノ主產地ニシテ之カ製織ニ要スル機具ノ如キモ漸次巧妙ニ達シ近年他府縣ニ於テモ羽二重製織ヲ獎勵セル結果之ニ要スル技術家ノ招聘ハ素ヨリ箒綜統ノ如キ器具ニ至ルマテ之カ供給ヲ福井市ニ仰クニ至リ箒ノ縣外輸出漸ク盛大トナルニ至レリ現今一ケ年ノ産額十五萬圓製造家五十五人アリニ達シ景氣上進ノ時ハ此倍額ニ達スルコトアリト云フ

杆四十二點十三名ノ出品アリテ何レモ黃揚製ノ羽二重用ナリ製作技術頗ル進步シ杆車ノ工合全体ニ可ナリ車軸ハ鐵製ナレトモ砲金トセハ更ニ可ナラン本縣羽二重用杆ハ羽二重

業ノ隆盛ニ伴レテ需要中々ニ廣シ

綜統四點三名ノ出品アリ何レモ羽二重用ニシテ製作可ナリ

眞鍮製緯管ノ出品アリ現今福井地方ニ於テ羽二重用トシテ最モ廣ク需用アルモノニシテ片鱗及ヒ兩鱗ノ二様アリ前者ハ後者ニ比シテ十分ニ緯絲ヲ卷付クルコト能ハサルモ又殘リ絲ヲ去脱スルニ便ナリ後者ハ兩縁ノ支障ニ因リ段絲ヲ去脱スル時不便アレトモ緯絲ヲ十分ニ卷付得ルノ利益アリトス

「シケ取鉄伸子箒用心竹精練用帽子等ハ何レモ一人宛ノ出品ニシテ別ニ評スヘキ程ノモノアラス

石川縣 羽二重箒一點ノ出品アリ

富山縣 羽二重箒二點箒一點ノ出品アリ

右兩縣ノ出品トモ何レモ普通品ナリ

鳥取縣 箒五點二人ノ出品アリ小倉服地羽二重ネル用ノ如キ廣巾物及ヒ木綿箒ナリ羽二重箒ハ箒羽柔軟ニ過キ其他ハ粗雜ニシテ見ルニ足ラス

器械製三綸無双綜統一點ノ出品アリ紅白絲ヲ以テ編成シ製作新規ナリ

島根縣 箒三點二名ノ出品アリ縮及ヒ絹用ナリ技術稍々可ナレトモ薄羽ニシテ縁稜ノ削リ過キタルモノアリ又木綿紵用織絲一點アリ製作可ナリ

岡山縣 「ネル箒」一點伸子一點地機杆點ノ出品アリ

徳島縣 紵子二點ノ出品アリ

右兩縣ノ出品トモ何レモ技術ノ見ルヘキモノナシ

福岡縣 久留米木綿用綜統十五點一人ノ出品アリ普通品ナリ又不染織込紵絲三點ノ出品ハ

稍々佳ナリ

大分縣 紵三點ノ出品アリ紵絲羽ニ着色ヲ施シタリ製作可ナリ

出品ニ關スル批評以上ノ如シ尙ホ本類ノ最多數ヲ占メタル筈ニ付テ參考ノ爲メ福井地方

ニ於ケル該製造方法ノ一般ヲ左ニ掲ク

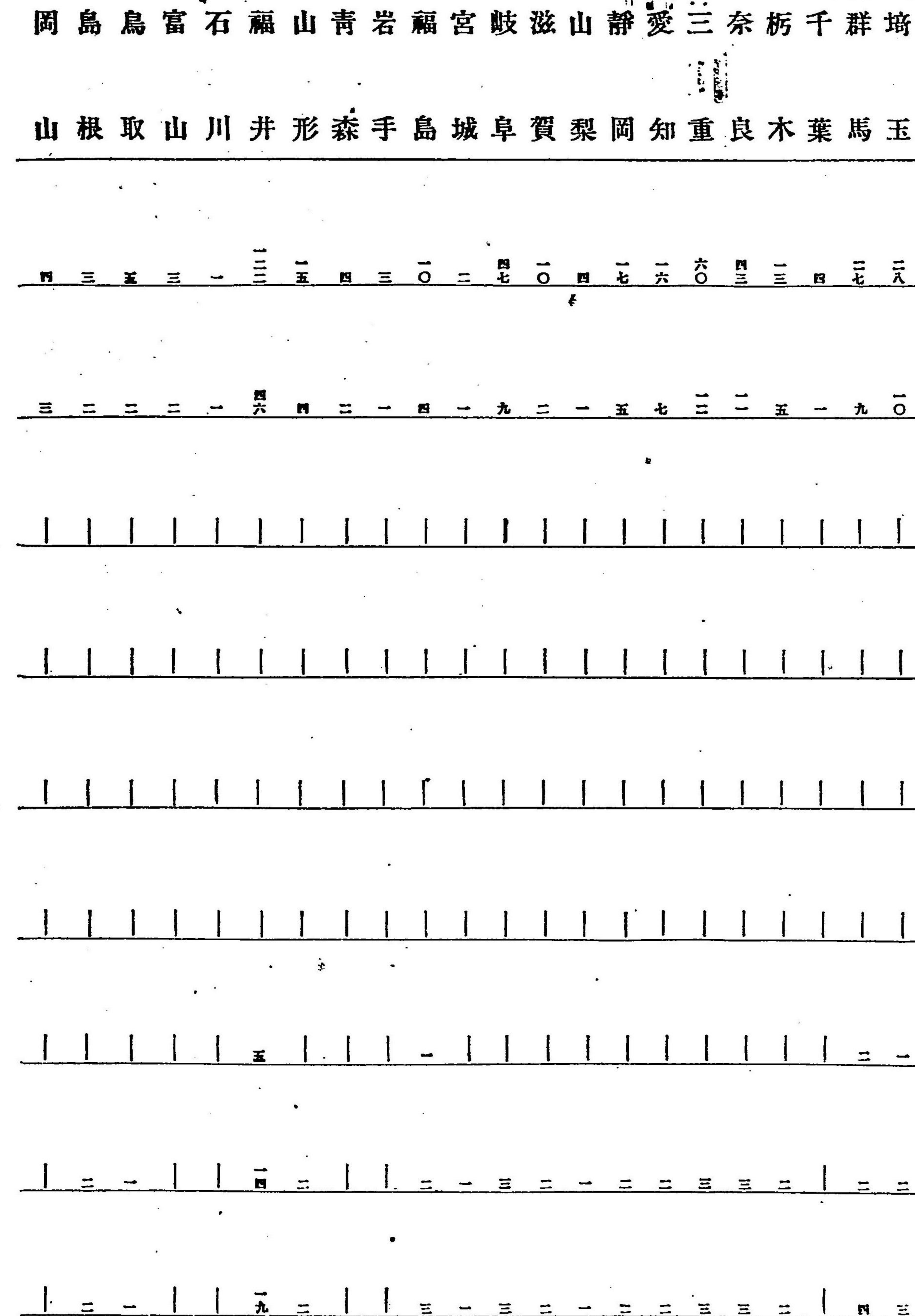
原料ハ京都府山城國葛野郡嵯峨地方産ノ眞竹ニシテ嵯峨地方ノ眞竹ハ質優良ニシテ柔軟ナラス脆弱ナラス頗ル箴羽ノ製作ニ適ス其生産後凡ソ五年ヲ經過シ太サ尺許ニシテ眞直ナルモノヲ擇ミ其根元一分末先四分ヲ除キ中央部五分ヲ採リ根元ハ曲ミ多ク末先ハ細クシテ柔軟ナルカ故ニ若シ之ヲ混製スレハ後日齒際ニ異狀ヲ呈シ製織物ニ害ヲ與フ之ヲ一節宛ニ切り鯨四分巾ニ割り一度剝キ其肉部ヲ去リ皮部ヲ大釜ニ投シ十分ニ煮(竹質ヲ強堅ナラシメシカ爲メナリ)然ル後釜ヨリ取上ケ日光ニ曝スコト五十日許能ク其干上ルヲ待テ箴羽ニ製ス之ヲ箴竹ト云フ

箴羽ニ製センニハ先ツ箴竹ヲ一度小刀ニテ剝キ其皮部ヲ箴羽扱器ニテ漸次薄ク扱キ上ケ鯨二分ノ切込ニ鯨一寸ニ百十枚立用ハ四十枚百五枚立用ハ三十八枚百枚立用ハ三十六枚ヲ嵌入シ得ヘキ厚サニ扱キ上ケ而シテ之ヲ箴羽ノ丈ケ(即チ鯨二寸二分位)ニ切斷シ

之ヲ製羽框ニ詰メ込ミ双方ヨリ錠子ヲ以テヨリ締メ鋏鑿鑿及ヒ薄刃ヲ用ヒテ其兩側而ヲ能ク削リ上ケ炭火ニ掛ケ橄欖油又ハ桐油ヲ塗リ徐々樺色ノ度ニ燒キ上ケ樺色ノ度ニ燒上クルトキハ竹ノ水質ヲ去リ羽質ヲシテ強堅ナラシメ羽ニ重織製ノ際横絲管ノ水氣ヲ彈カシメ水氣ノ爲メ箴目ノ狂フコトヲ防カンカ爲メナリ其儘放置スルコト數十日箴羽ノ收縮復舊スルノ後再ヒ薄刃ヲ以テ削リ小口等ヲ仕上ケテ後面取框ニ順次斜ニ詰メ込ミ薄刃ヲ用テ箴羽表兩角面ヲ削リ掠葉及ヒ角粉ヲ以テヨソ磨キ上ケ箴羽トナス是ニ於テ心竹親羽竹等眞直ナルモノヲ擇ミ器械製ノ類節ナキ生絲ノ撚リ絲ヲ以テ百十枚ハ鯨二分ニ二十二枚百五枚立ハ二十一枚百枚立ハ二十枚宛編ミ編絲ニ膠ヲ塗リ緑地ニ鳥ノ子紙ヲ貼リ能ク齒條ヲ整理シ心竹ノ内側ニシベシ細キ薄キ竹ヲ貼付シ以テ製成スルモノアリ

器具方法出品並授賞統計表

府縣別	出品點數	出品人員	名譽金牌	名譽銀牌	一等賞牌	二等賞牌	三等賞牌	褒	狀	計
東京	一六	四							四	一五
京都	八	三							三	一九
大阪	一一三	二							一	四
神奈川	一一三	一							一	一
兵庫	一一〇	三							六	一六
新潟	二	七							二	二
計										一九五



大福徳	計
八	二
三	一
二	五
三	三
三	二
三	一
三	二
三	二
三	一
三	二
三	一
三	二
三	一
三	二
三	一
三	二
三	一
三	二
三	一
三	二
三	一

第二節 形紙

報告員 審査官 竹 下 直 次 郎

形紙ノ出品ハ三重及ヒ東京京都大阪ノ一縣三府ニシテ近年友禪染及ヒ中形染ノ進歩ニ伴レテ形紙ノ發達亦著シ今回ノ出品中形紙製造家ノ工夫ニ係カル崭新ノ意匠トモ云フヘキモノ少ナク小刀ノ使用拙劣ニシテ筋間ノ不揃ノモノ地紙ノ抄製不整ニシテ使用ニ臨ンテ伸縮不規則トナリ隨テ染色模様ニ累ヲ及ホスモノアリ元來本品ハ勢州白子町ノ特産ニシテ全國ニ販路ヲ有スルモノナリシカ近年當業者ノ東京及ヒ京阪地方ニ移住シテ其業ヲ營ムモノ漸ク多シト云フ先ツ其陳列方ニ就テ評セン

三重縣 本縣ノ出品ハ最モ多數ニシテ多クハ卷束シアアルヲ以テ是亦タ其模様ヲ見別スルニ不便アルノミナラス之カタメ實際使用スルニ適當ナラサルモノアリ

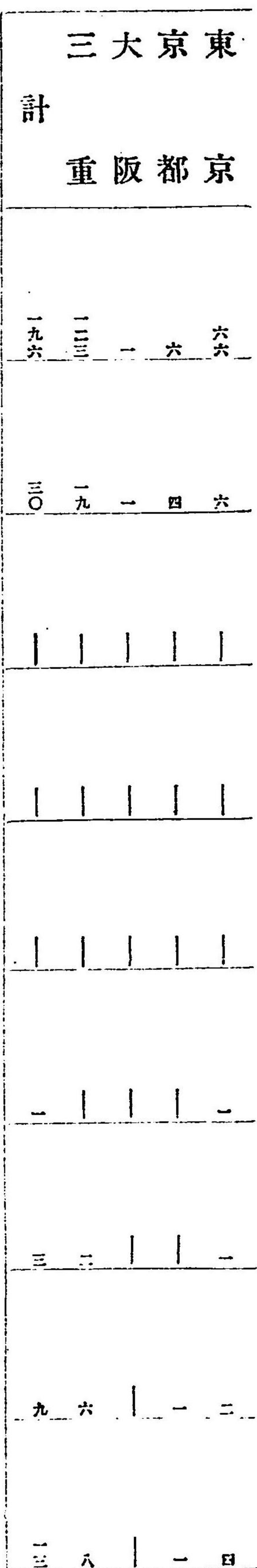
東京府 本府ノ出品ハ何レモ額面仕立トナシ就中白紙ヲ下敷トナシタルモノハ見別頗ル便ナリ又色艶紙ヲ下敷トナシタルモノアレトモ其色合ニ依テハ却テ審査ニ不便ナルモ入アリ爾後斯ル出品ハ白紙ノ下敷ヲ用ヒ形紙掛絲ノ垂ヌ様額仕立トナシ其現品ト摺込ミトヲ

併せて出品シ審査上並ニ一般縦覽者ノ便宜ヲ計ランコトヲ望ム次ニ出品ニ就テ評セン
 東京府 北村林之助ノ出品ハ技術秀逸ニシテ意匠亦々佳長谷川庄兵衛及ヒ神崎八兵衛ノ
 出品ハ釣絲頗ル妙ナリ三重縣ノ南部定助六谷芳藏寺尾齊兵衛ノ出品ハ製作精巧寺村重右
 衛門出品ハ澁合セ絲入レノ技術嘉スヘシ又大阪府ヨリモスリン友禪形紙一點ノ出品アリ
 タレトモ意匠細工普通ニシテ技術活氣ニ乏シ

審査補助萩原國三批評 形紙ハ往昔ヨリ勢州白子製作トシテ知ラレシモノナルカ現今
 ハ東京ニ中形京都ニ友禪大阪ニモスリン友禪等各地トモ彫形工ノ妙手輩出セシカハ白
 子ハ復昔日ノ觀ナシト雖モ小紋形ノ道具彫ト云フ細微ノ物ニ至リテハ未タ決シテ他方
 ノ企及スヘカラサルナリ然ルニ今後此種ノ精技他ノ衰潮ニ伴ハレテ漸ク枯凋シツ、ア
 ルトカ惜ムヘキノ限リナリ又中形ノ如キ小刀彫ト云ヘル模様の形ハ東京最モ長所ニシ
 テ其形ノ間ニ絲ヲ綾ツレルモノ等ノ精緻ナルハ稱賛スヘキモノアリキ京都ハ友禪形ノ
 出品アルヘキ筈ナレトモ更ニ其片影タモ見ル能ハサルハ想フニ其土ノ形工都テ製作家
 ノ配下ニアルカ故ナラン遺憾ナリ獨リ意匠ノ働キアルト認メシハ京都伊澤信三郎ノ紋
 織見本トシタル一松小紋ヲ濃淡二色ニヨリテ模様ノ陰翳ヲ明カニセシ出品ナリ是ハ一
 機軸ナリトシテ可ナラン

形紙出品並授賞統計表

府縣別	出品點數	出品人員	名譽金牌	名譽銀牌	一等賞牌	二等賞牌	三等賞牌	褒	狀	計
東京	六六	六	一	四	六	三	二	九	六	二
京都	一一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大阪	一六	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三重	一一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合計	一〇六	一〇	三	九	六	一	一	一	一	一



第三節 圖案

報告員審査官 井手馬太郎

圖案ノ概況ヲ報告スルニ先チ内國勸業博覽會ニ於ケル圖案ナル一項カ今回ニ在リテ始メテ
 設ケラレタルコトヲ永ク紀念セラレシコトヲ世ニ望ムト同時ニ之ヲ他ノ出品ニ比較シテ其
 數ノ甚タ僅少ナリシヲ告ケ以テ次回ニ於ケル出品ノ益々振ハンコトヲ切望ス
 今ヤ生産界ニ於ケル時局ノ趨勢ハ圖案ノ甚タ急務ナルニモ拘ハラス何故ニ斯ル現象ヲ呈シ
 タルヤヲ考フルニ其原因蓋シニアリ一ハ圖案技術者ノ未タ多カラサルコト他ハ當局者ノ獎
 勵全タカラサルコト是レナリ特ニ今回ニ於テ第十部ヲ除クノ外ハ圖案出品項目ヲ世ニ紹介
 スルノ條理徹底セス出品者ヲシテ幾分其出品ノ範圍ヲ不明瞭ナラシメタル傾キアリシモ亦
 慥カニ出品ノ寥々タリシ一原因ナルヘシ

而シテ出品數ノ最モ多キハ京都府ニシテ之ヲ他府縣ニ比スレハ優ニ頭角ヲ露ハスニ足ル蓋
 シ此地ハ圖案技術者及ヒ各種ノ工藝家比較的多數ナルヲ以テ一般ニ需用ノ度他府縣ニ比シ
 多キヨリ圖案ノ必要ヲ感シ獎勵ノ途モ亦タ能ク發達セルニ歸因スルナラン出品ハ概シテ新

新ト爲スヘカラサルモ實用ヲ重シ現今ノ製作技藝上ニ適應セサルノ非難少ナシ就中山田直三郎出品ノ如キハ圖案帖之出版ニ意ヲ用ヒ工藝家ヲ裨益スルコト大ナリ其出品海路ノ如キ意匠ニ富ミ印刷亦タ鮮明ナリ其外栗本保太郎上野靜江本市治郎島村善助等出品見ルヘキ價值アリ

京都府ニ亞キ出品數ノ多キハ東京府ナリ此地ハ近來意匠發達ニ就テ見ルヘキモノ少ナカラサルニモ拘ハラズ其出品ニ至テハ點數技術共ニ京都府ニ及ハス僅カニ森田茂樹出品稍々見ルヘキアルノミ

其他ノ各府縣ニアリテハ僅カニ一名宛ノ出品人ニ過キサレハ府縣別ノ比較考查ヲ成シ難シ只新潟縣永井源治ノ顔料定量表及ヒ岩手縣千葉伊平ノ意匠圖ハ意匠技術共ニ苦心ノ跡アルヲ見ル

圖案出品並授賞統計表

府縣別	出品點數	出品人員	名譽金牌	名譽銀牌	一等賞牌	二等賞牌	三等賞牌	褒狀	計
東京	一九	三							一九
京都	四三	三							四三
大阪	四	一							四
新潟	三	一							三
愛知	一	一							一
計									八一

岩山
計
手梨

	七二	一							七二
	一〇	一							一〇
	五	一							六
計									八

明治三十七年四月廿七日印刷
明治三十七年四月三十日發行

定價全一部金貳拾五圓

本卷定價金八拾五錢

第五回內國勸業博覽會事務局編纂

發行者 長谷川 正直
東京市日本橋區兜町二番地

印刷者 齋 藤 章 達
東京市日本橋區兜町二番地

印刷所 東京印刷株式會社
東京市日本橋區兜町二番地

